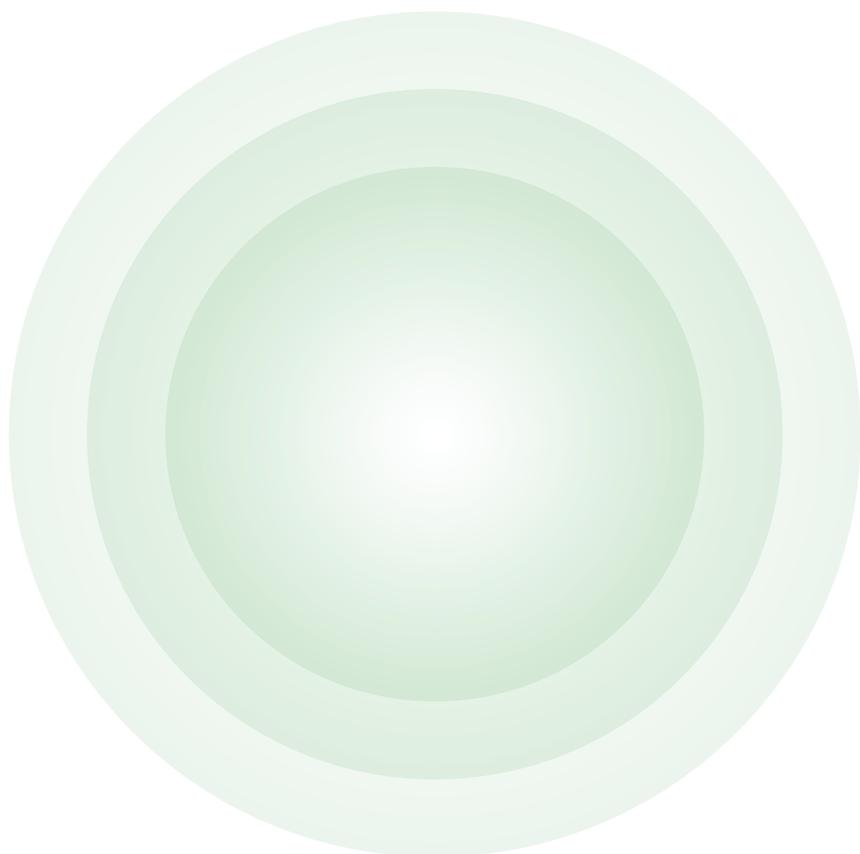


平成23年度 年次報告書



明石市

Akashi

2012

Environmental Report

環境レポート

はじめに

本市は、有史以前から続く豊かな歴史を有するとともに、穏やかな瀬戸内海を望む美しい海岸線やため池群など、多くの自然が残る風光明媚なまちです。

この恵まれた環境を守り、生かし、美しく豊かな「明石のまち空間」を創造し、将来に継承していくため、「ライフスタイルを見つめ直す」をキーワードに、平成23年度に「第2次明石市環境基本計画」を策定し、中長期的な視野を持って環境施策の実現に取り組んでいます。

また、同年度には、循環型社会を実現するための計画として、「みんなでつくる循環型のまち・あかしプラン」を策定し、低炭素社会の実現を旨とした「ストップ温暖化！低炭素社会のまちあかしプラン」及び自然共生社会の実現を旨とした「つなごう生きもののネットワーク 生物多様性あかし戦略」とあわせて、「第2次明石市環境基本計画」を支える3つの個別計画として位置付けています。

これらの計画をより実効性の高いものとするには、市民のみなさまをはじめ、事業者や関係団体、そして行政を含めた協働の取り組みが必要となります。

この環境レポートは、環境基本計画の理念に基づき作成し、本市の環境への取り組み状況を紹介しています。市の環境施策について、広く市民のみなさまにご理解いただき、環境問題をより身近に感じ、日々の生活のなかで環境意識を高めていただければと思っております。市民のみなさまの一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。



明石市長

泉房穂

この報告書には、明石市の環境に関する情報について、平成23年度の報告を中心に掲載しています。対象は、明石市（行政委員会の事務局を含む）の環境施策と事務事業です。

1	明石市のめざす環境像を実現するために	P.2
	第2次明石市環境基本計画について	
2	平成23年度の主な取り組み	P.3
	活動トピックス	
3	低炭素社会の実現への取り組み	P.4～5
	ストップ温暖化！低炭素社会のまちあかしプラン	
4	自然共生社会の実現への取り組み	P.6～7
	つなごう生きもののネットワーク 生物多様性あかし戦略	
5	循環型社会の実現への取り組み	P.8～10
	みんなでつくる循環型のまち・あかしプラン	
6	安全・安心社会の実現への取り組み	P.11
7	横断的施策	P.12
8	エコウイングあかしの取り組み	P.13～17
	エコウイングあかし（明石市環境基本計画推進パートナーシップ協議会） エコウイングあかし・平成23年度の取り組み ほか	
9	明石市環境マネジメントシステム	P.18～22
	環境目的・環境目標の取り組み ほか	
10	平成23（2011）年度の事業評価表	P.23～26
	環境貢献（施策編）環境基本計画に定める取り組み（P23～24） 環境貢献（エコ活動編）の取り組み（P25～26）	
11	主な関連資料	P.27～28
	主な関連資料一覧・入手方法について	

1 明石市のめざす環境像を実現するために

第2次明石市環境基本計画について

明石市では、明石市の環境の保全及び創造に関する基本条例に基づき、「明石市環境基本計画」を策定しています。

この計画では、環境全般に関わる取り組みの基本となる考え方、めざす環境像、取り組み内容を示すとともに、市民、事業者、行政それぞれの役割を明らかにしています。

平成23年度に策定した第2次明石市環境基本計画では、基本方針に示す施策推進のため、地球温暖化対策、自然環境の保全、一般廃棄物処理の各個別計画の上位計画として本計画を位置づけています。

明石市のめざす環境像

水辺や里山そしてまちは光に映え、人々がにこやかに集う
人と人との思いやり、地球をいつくしむ
古(いにしえ)に想いをはせ、未来への希望が輝き続けるまち

～恵まれた環境と文化をともに守り育て、将来につなぐまち・あかし～

第2次明石市環境基本計画

基本方針 明石市のめざす環境像を実現するため、4つの基本方針を掲げています

つなごう生きもののネットワーク
生物多様性あかし戦略

ストップ温暖化！
低炭素社会のまちあかしプラン

みんなでつくる
循環型のまち・あかしプラン

自然共生社会
の実現

低炭素社会
の実現

循環型社会
の実現

安全・安心社会の実現

横断的施策

明石市のめざす環境像を実現するための推進体制

明石市の「めざす環境像」を実現するために、市民、事業者、行政の各主体での取り組み、協働の取り組み、そして推進する体制が必要です。

第2次明石市環境基本計画では、行政だけでなく、市民、事業者との協働＝パートナーシップで計画を進めることを基本としています。

2 平成23年度の主な取り組み

活動トピックス

断捨離 ～だんしゃり～ 講演会の開催 講師：やました ひでこ氏 (第2次明石市環境基本計画策定記念講演会)

持続可能な社会の実現へ向け「ライフスタイルの転換」の契機となるよう、環境基本計画の改定に合わせ、「循環型社会への適応」を提唱する講演会を開催しました。

断捨離とは、「モノ」への執着を捨て必要のないものを整理し、心身ともに身のまわりをスッキリ片づけることで、講師には、全国各地でセミナーを開催され、多くの支持を得ている「やました ひでこ氏」をお招きしました。



平成24年1月13日(明石市民会館)

家庭で取り組める地球温暖化対策

～グリーンカーテンの普及啓発～

グリーンカーテンの普及を図るため、市民のみなさまにネットとゴーヤ苗の配布を行いました。夏の節電につながるということもあり、市民の関心も高く、最終的に900セットの配布を行いました。

また、グリーンカーテンの魅力をより多くの方に知っていただくため、「あかしグリーンカーテンコンクール」を開催しました。



個人の部 最優秀賞

外来種生息域実態調査の実施 ～ミシシippアカミミガメ～

市内のため池や河川では、多くのミシシippアカミミガメ(ミドリガメ)が確認されています。このカメは、貴重な水草の芽を食べたり、在来種の生息域を圧迫するなど、自然環境に様々な影響を与えています。

市内には多くのため池があり、それらは貴重な水辺となっています。そこで、ため池でのミシシippアカミミガメの生育実態を把握するため、新たに生息域実態調査を実施しました。



ミシシippアカミミガメ

ごみの発生抑制への取り組み ～ライフスタイルの見直し～

ごみの減量化と地球温暖化防止のため、スーパー等の事業者・消費者団体(明石市消費生活研究会)と「明石市におけるレジ袋削減に向けた取り組みに関する協定」(三者協定)を締結しました。

平成23年11月25日(金)に13事業者(42店舗)と、平成24年2月14日(火)に3事業者(7店舗)と協定を締結しました。



レジ袋削減協定締結式

3 低炭素社会の実現への取り組み

ストップ温暖化！低炭素社会のまちあかしプラン

明石市では、地球温暖化対策を推進するため「ストップ温暖化！低炭素社会のまちあかしプラン」を平成23年3月に策定しました。

この計画では、市役所の事務事業だけでなく、市民・事業者の活動から排出される温室効果ガスを削減するための具体的な施策を定めています。良好な環境を将来の子どもたちに引き継ぐには、行政だけでなく市民と事業者が協力して、温室効果ガスの排出が少ないライフスタイルへと転換することが必要です。

明石市内の温室効果ガス排出量の推計

温室効果ガスの実績値と目標値は以下のとおりです。平成21(2009)年度に明石市内から発生した温室効果ガスの排出量は、二酸化炭素に換算すると1,586,972t-CO₂となり、計画の基準年度である平成2(1990)年度と比較すると18.2%の減少となりました。

(※実績値については、温室効果ガスの算出基礎となる各種統計データの集約が可能な平成21年度が最新となっています。)

◆平成2年度を100とした場合の部門ごとの指数

区 分		実績値			対策を行わない場合の将来推計		
		平成2年度 (1990年度)	平成20年度 (2008年度)	平成21年度 (2009年度)	平成24年度 (2012年度)	平成32年度 (2020年度)	平成62年度 (2050年度)
一酸化二窒素、 二酸化炭素、 メタン、	産業部門	100	68	66	86	95	93
	運輸部門	100	84	77	71	74	72
	民生部門(家庭系)	100	122	124	146	150	136
	民生部門(業務系)	100	112	95	140	153	154
	工業プロセス	100	22	22	26	27	26
	農 業	100	53	51	25	25	25
	廃棄物	100	250	213	237	233	216
代替フロン等		100	67	66	115	174	174

◆明石市内の温室効果ガス排出量の現状(平成21年度まで)と目標値

区 分	実績値			目標値		
	平成2年度 (1990年度)	平成20年度 (2008年度)	平成21年度 (2009年度)	平成24年度 (2012年度)	平成32年度 (2020年度)	平成62年度 (2050年度)
温室効果ガス(t-CO ₂ /年)	1,940,845	1,693,176	1,586,972	1,601,197	1,455,634	388,169
1990年度を100とした場合の指数	100	87.2	81.8	82.5	75.0	20.0

地球温暖化対策の啓発活動

●明石市住宅用太陽光発電設備設置補助金

平成22年度より住宅用太陽光設備の普及を図るため、個人が住宅に太陽光設備を設置される場合に、その経費の一部の補助を始めました。

平成23年度は174件、669.54キロワットの太陽光発電設備に補助を行いました。

●グリーンカーテンの普及啓発

家庭で取り組める地球温暖化対策のひとつとして、グリーンカーテンの普及を図るため、カーテンネットとゴーヤの苗を配布しました。

当初は400セットの配布予定でしたが、予定数を大幅に上回る市民が来場され、大好評の結果となりました。配布することのできなかった市民の期待に応えるべく、急遽、追加で500セットの配布を行いました。

また、市内の建物を対象とし、市民(個人)や事業所(団体)などが育てられた立派なグリーンカーテンを多くの方に知っていただくことで、さらなるグリーンカーテンの普及を図るため、「あかしグリーンカーテンコンクール」を開催しました。



コンクール表彰式



個人の部 最優秀賞



団体の部 最優秀賞

●あかしたなばた☆ライトダウン

6月21日(夏至の日)から7月7日(七夕)まで、全国的な節電行動としてライトアップ施設や家庭の電気を消灯する「CO₂削減／ライトダウンキャンペーン」が実施されました。

明石市でも、7月7日の午後8時から10時の2時間、明石市生涯学習センターと明石市立天文科学館が参加しました。



天文科学館のライトダウン

●あかし打ち水大作戦 (平成23年8月13日)

都市部のヒートアイランド現象を和らげる日本古来の知恵「打ち水」を紹介する取り組みです。明石市立天文科学館の玄関前で、約150名の協力により実施しました。

参加者の一斉打ち水で地表温度が7.5℃、気温が2.4℃下がりました。天文科学館のシゴセンジャーやブラック星博士がゲスト出演し、参加者は楽しみながら冷房に頼らない“涼”を体感しました。



天文科学館玄関前での打ち水

4 自然共生社会の実現への取り組み

つなごう生きもののネットワーク 生物多様性あかし戦略

明石市では生物多様性基本法に基づき、生物の多様性の保全及び生物多様性の恵みを将来まで持続して利用できるようにするため、「つなごう生きもののネットワーク 生物多様性あかし戦略」を平成23年3月に策定しました。

明石市は、水辺豊かな地域となっており、水でつながる代表的な自然環境として、里山林・ため池・河川・海岸があります。これらの自然環境を守り、「自然と人が共生するまち“あかし”」を未来の子どもたちに引き継いでいかななくてはなりません。そのためには、行政だけでなく、市民、事業者、市民団体など多くの主体が協働し、戦略を推進する必要があります。



(将来のイメージ図：出典「つなごう生きもののネットワーク 生物多様性あかし戦略」)

ため池 ため池の環境保全

ため池は農業用水を確保するために作られた人工池ですが、防災機能（洪水調整）や親水空間、さらに環境学習の場など、様々な機能を持っています。

また、市内のため池には、希少な水生植物も多く自生しており、水面に巨大な葉を広げるオニバス（スイレン科）は、西日本有数の群生地として知られています。

一方、ため池には、多くの外来生物も生息しており、中でも「ミシシippアカミミガメ」は、市内のほとんどのため池で生息が確認されており、貴重な水草の芽を食べたり、在来種の生息域を圧迫するなど自然環境に様々な影響を与えています。

明石市では、これらの実態を把握するため、明石市内33ヶ所のため池で、「ミシシippアカミミガメ生息域実態調査」を実施しました。調査の結果、全体で539個体のカメを確認し、そのうち、ミシシippアカミミガメは374個体確認され、全体の約70%を占めていました。



江井島血池のオニバス



ミシシippアカミミガメ

河川 河川の保全

明石市には、比較的大きな河川として、朝霧川、明石川、谷八木川、赤根川と瀬戸川があり、ため池と同様に様々な機能を持ち、重要な役割を担っています。

また、富栄養化しているため池の水を河川を通じて海へと流し、海苔の色落ち対策に役立てようと、河川を利用した新たな取り組みも始まっています。環境美化面では、地域の「川を美しくする会」などの定期的な清掃により、河川環境が保全されています。



谷八木川

明石川および兵庫県立明石公園の生物・生態系調査の実施

明石市では、「つなごう生きもののネットワーク 生物多様性あかし戦略」推進の基礎資料とするため、市内の自然環境を継続的に調査しています。平成23年度は、明石川および兵庫県立明石公園の生物・生態系調査を実施しました。

明石川は、生活用水はもとより、防災機能（洪水調整）や親水空間、さらには環境学習の場として利用されるとともに、多くの生き物が生息・生育しています。

明石公園は、中心市街地に位置しながらも、照葉樹林や硬葉樹林が発達した多様な樹木が生育し、多種多様な鳥類や昆虫類が生息するための環境が整っています。また、野鳥観察等の環境学習の場としても、市民に幅広く利用されています。



明石川河口付近



兵庫県立明石公園

調査場所	調査項目	調査結果〈確認種数〉	内、特定外来生物種数	内、要注意外来生物種数
明石川	魚類	7目12科25種	2種	2種
	鳥類	11目24科42種	0種	0種
明石公園	魚類	3目5科6種	1種	0種
	両生類・爬虫類	3目7科8種	1種	1種
	哺乳類	0種	0種	0種
	植物	4綱79科210種	2種	0種

ブルーツアー（水辺観察会）の実施

平成23年の夏は全国各地で猛暑日が続くなか、明石市では猛暑日は記録されませんでした。その要因のひとつとして、明石市には「ため池」「水路」「河川」「海」など、水でつながる自然が多くあり、気温上昇が抑制されたことが考えられます。

平成23年度は水のつながりを「水辺空間」の視点で捉え、参加者が明石を再発見する「ブルーツアー」を実施しました。



林崎掘割



魚住浄水場



魚住沖

5 循環型社会の実現への取り組み

みんなでつくる循環型のまち・あかしプラン

明石市では、循環型社会の実現を図るため「みんなでつくる循環型のまち・あかしプラン(明石市一般廃棄物処理基本計画)」を平成24年3月に策定しました。

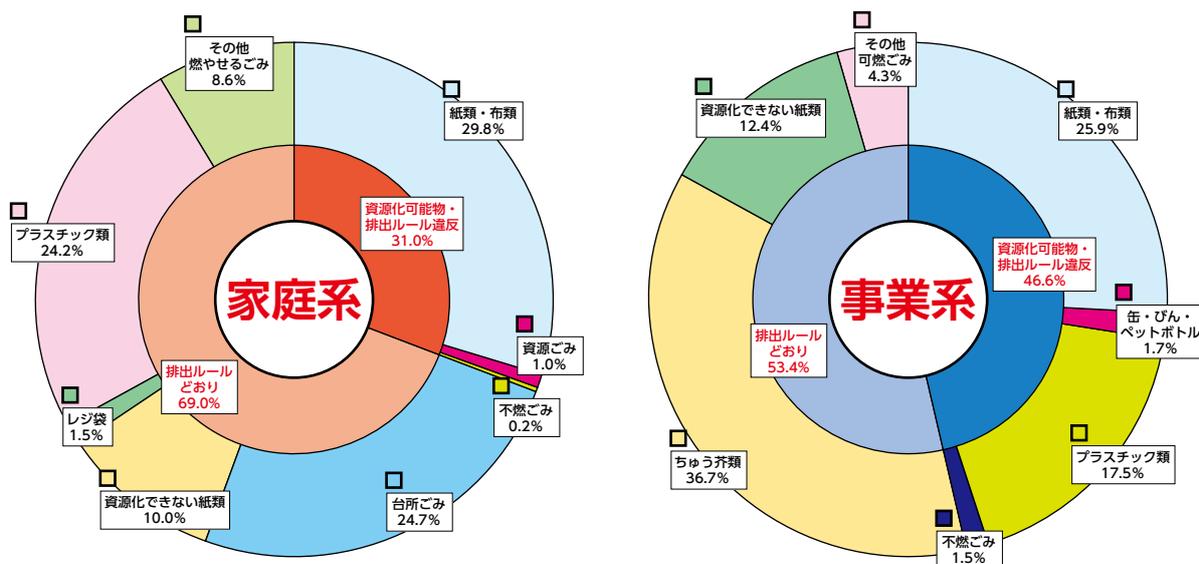
この計画に基づいて、3R(リデュース〔発生抑制〕、リユース〔再使用〕、リサイクル〔再生利用〕)を中心とする減量・資源化の推進に向けた、環境への負荷が小さく持続可能な循環型のまち・あかしを目指していきます。

数値目標の達成状況

	平成22年度 (2010年度) (基準年度)	平成23年度 (2011年度) (実績)	平成32年度 (2020年度) (目標年度)
『目標1』ごみ処理量の削減	—	—	—
・市ごみ処理量	101,161t	100,404t	84,000t
・家庭系燃やせるごみの1人1日あたり排出量	525g / 人日	530g / 人日	440g / 人日
・事業系市ごみ処理量	37,438t	36,072t	33,000t
『目標2』最終処分量の削減	16,580t	15,909t	13,600t
『目標3』リサイクル率の向上	13.7%	13.5%	15.7%

可燃ごみの組成分析結果

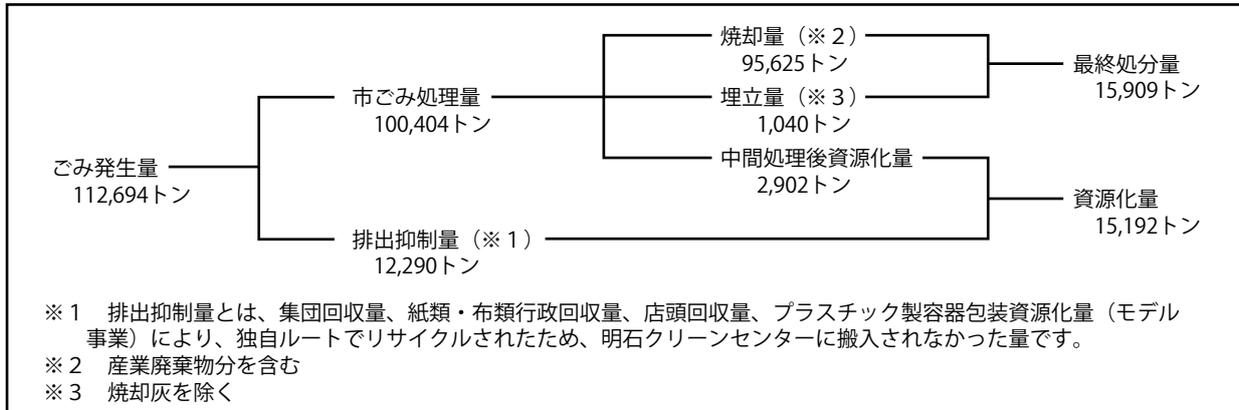
可燃ごみの性状を把握するため、平成24年3月14日に家庭系及び事業系それぞれの組成分析(湿量ベース)を行った結果を下に示します。その結果、家庭系・事業系とも資源化できる紙類・布類が約3割程度含まれているため、より一層の分別の徹底を図っていく必要があります。



平成23年度 可燃ごみの組成 (重量比)

一般廃棄物の処理処分・資源化の実績（平成23年度）

平成23年度における一般廃棄物の中間処理、最終処分、資源化の実績は以下のとおりです。



平成23年度の取り組み状況

1 ごみの発生抑制を最優先、次に再使用・再生利用

●ライフスタイルの見直し

市民のライフスタイルや事業者のビジネススタイルをより環境にやさしいものへと転換を図るため、スーパー等の事業者・消費者団体（明石市消費生活研究会）と三者協定を締結し、レジ袋無料配布の取りやめに取り組みました。



レジ袋削減協定締結式

●生ごみ減量化への取り組みの推進

家庭ごみの減量を進めるため、「生ごみ減量化大作戦」と題し、家庭で気軽に取り組める「段ボールコンポスト」の普及と水切りの啓発に努めています。

平成23年度は、段ボールコンポスト基材を1,414個、水切り基材を497個配布し、段ボールコンポスト講習会を3回開催しました。また、「生ごみ減量化大作戦 実践ガイドブック」を作成しました。



段ボールコンポスト講習会

●不用品の再使用の推進

平成23年5月16日、クリーンセンター内に『リサイクル家具常設展示場』を開設し、粗大ごみとして収集した家具等を修理・再生し販売することで、不用品の再使用の実践活動を進めています。

平成23年度の年間来場者は2,123人で、申し込み者には抽選の上、リサイクル家具を有償にて122点を提供しました。



リサイクル家具常設展示場

●集団回収活動の拡充と活動団体の育成

集団回収については、地域のリーダーの育成や支援体制の充実のほか、市から積極的に活動未実施地域に対し団体登録を働きかけることで、地域での取り組みの活性化を促し、集団回収活動の拡充を目指していきます。

平成23年度は、合計8,672トンの回収実績がありました。



集団回収の活動風景

●拠点回収の拡大

廃食用油の回収については、現状の拠点回収方式が市民に浸透してきており、今後も拠点回収を充実していきます。平成23年度については、市役所、市民センターや自治会館など、計28カ所の拠点で廃食用油を回収しました。



拠点回収の回収風景

2 パートナーシップによる取り組みを強化

●ごみ処理実績等の積極的公開

ホームページや広報紙への掲載など、さまざまな機会を通じてごみ処理実績を積極的に公開し、市民や事業者の取り組みによるごみ減量効果の「見える化」を行います。

平成23年度については、ごみ減量推進員会議や市民とともに考える会などの各種会議、明石クリーンセンター施設見学の来場者に対し実績を報告するとともに、ホームページや明石ケーブルテレビ、広報あかしなどへ掲載し積極的に公開を行いました。

●ごみ減量推進員等の活動支援

ごみ減量推進員・協力員は、市民のごみ減量に対する意識の高揚を図るため、地域のリーダー・サブリーダーとして活動していただいています。

平成23年度は、ごみ減量推進員会議、ごみ減量推進協力員研修会などを実施し、校区連合間の交流会等を開催して意見を出し合い、情報の共有化を図っています。また、市とごみ減量推進員・協力員とで連携して、「ペットボトルキャップの啓発キャンペーン」を市内5カ所で開催しました。



ペットボトルの啓発キャンペーン

●環境学習の推進

現在、環境出前講座やあかし環境&消費者フェア、クリーンセンター施設見学など、さまざまな環境学習の機会を提供しています。平成23年度については、環境&消費者フェアの開催(3,500名参加)、明石クリーンセンター施設見学に約3,300人来場、「学校へ行こう」を7回開催しました。



環境&消費者フェアの環境ステージ

3 ごみの安全・安心な適正処理

●ごみ処理事業における行政サービスの向上

現在、市民の多様な要望に対応するため、粗大ごみの戸別有料収集や高齢者および障害者の方を対象とした「要援護者ごみ戸別収集(ふれあい収集)」を実施しています。

●搬入物検査や指導

本市施設では分別状況の調査や処理困難物の搬入を防止するため、適宜、搬入物検査や分別状況の調査を行い、不備があった場合は指導や不適物の持ち帰りを指示しています。

平成23年度については、合計1,606件(内訳：目視検査1,468件、展開検査138件)の搬入検査を実施し、不備のあった13件については持ち帰りを指示しました。



要援護者ごみ戸別収集(ふれあい収集)

6 安全・安心社会の実現への取り組み

地域環境を調査・測定し、環境保全に努める

●環境監視体制の充実

- ・大気、水質、騒音及び有害化学物質等の観測システムの維持、整備の充実を図り、常時監視測定を行うことにより公害の発生源や環境汚染などの実態把握に努めます。

●環境情報の整備・発信

- ・市内環境の調査・測定結果は、「明石市環境の現況」として、ホームページ等へ公表するとともに、市内事業所に対して情報公開の要請を行うことにより、市民・事業者が地域環境に関する情報を効率よく収集できよう努めます。
- ・市民一人ひとりの環境に対する理解を高めるための啓発活動を行うとともに、自主的な環境学習活動を積極的に支援していくため、学習支援制度の充実を図ります。



大気環境月間の啓発活動
(トライやるウィークの生徒と合同啓発)

人の健康や生活環境へのリスクの少ない社会を目指す

●大気環境の保全の充実

- ・大気汚染に係る事業場に対して、関係法令に基づいた、規制・指導の更なる充実を図ります。
- ・市民や事業所に対して、エコドライブやアイドリングストップの啓発を行うことにより、自動車公害対策を推進します。
(平成23年度 立入件数 41件)



解体現場のパトロール

●水環境の保全の充実

- ・水質汚濁に係る工場・事業場に対する規制・指導の更なる充実を図ります。
- ・市民に対して、生活排水に関する啓発などの水質汚濁防止対策を推進します。
(平成23年度立入件数 130件)

●騒音・振動の防止の充実

- ・特定建設作業や工場・事業場に対して、関係法令に基づいた、規制・指導の更なる充実を図ります。
(平成23年度立入件数 33件)



一般環境の騒音調査

●有害大気汚染物質の調査

- ・有害大気汚染物質やダイオキシン類の汚染状況調査を行い、市内の大気汚染の把握や資料収集に努めます。
(平成23年度 有害大気汚染物質19種類 1回/月 ダイオキシン類 4回/年 他)

●公害苦情への迅速な対応

- ・市民からの環境公害の苦情に対して迅速に対応し、市民が安心して暮らせる生活環境の提供に努めます。
(平成23年度 苦情受付件数 157件) ※苦情システムデータベースの総件数

7 横断的施策

●環境学習を推進し、人材育成を図る

- ・市民・市民団体、事業者、学校と連携して環境を学ぶ機会を増やし、地域における環境学習や環境配慮行動などへの適切なアドバイスができる人材の育成を図ります。



小学校の環境学習風景

●環境に調和したライフスタイルを推進する

- ・省資源・省エネルギー、生物多様性保全など、市民一人ひとりの環境に調和したライフスタイルを促進するための情報提供などを行います。



環境&消費者フェアinあかし



グリーンカーテン設置啓発
(市立図書館)

●歴史・文化を守り、明石らしさを伝える市民文化を保存する

- ・郷土の貴重な文化財を後世に継承していくため、重要な文化財については、所有者の理解のもとで指定文化財の保存に努めるとともに、文化財の公開や展示を通じて市民の文化財保護意識の普及啓発を図ります。
- ・都市景観形成重要建築物や都市景観形成地区の指定により、歴史的な建物やまちなみの保全を進めます。



明石城

出典：明石市第5次長期総合計画



中崎公会堂

出典：明石市都市景観形成基本計画

8 エコウイングあかしの取り組み

エコウイングあかし(明石市環境基本計画推進パートナーシップ協議会)

「エコウイングあかし」は、環境基本計画を推進し、明石市のめざす環境像を実現するため、平成19年10月に設立された組織です。第2次明石市環境基本計画では、今後さらに活動の幅を広げ、各個別計画の施策を参画と協働で推進していくため、ネットワークづくりの核と位置付けています。

エコウイングの「エコ」は環境全般を表し、「ウイング」は翼を表します。エコの風が大きく翼を広げ、市民、事業者、行政をつないで明石に広がるイメージとともに、東西に長い明石の地形も表しています。



リーディングプロジェクト(LP)

リーディングプロジェクトは、環境基本計画(平成19年3月改訂版)を推進するために市民が考えた取り組みです。平成19年3月の計画改定後から、エコウイングあかしが中心となって4年半にわたり取り組みを推進してきましたが、計画の見直しに際して、より広域的、横断的な活動が必要とされることから、リーディングプロジェクトの枠組みを取り払い、活動を実践することとなりました。第2次明石市環境基本計画では、各個別計画の推進と、それらを横断的に推進するための取り組みを展開することとしています。

エコウイングあかし・平成23年度の取り組み

●第5回 エコウイングあかし総会(平成23年5月14日)

会員数76名(総会時点)のうち46名(委任状の提出含む)が出席し、平成22年度の活動及び決算報告、また、平成23年度の活動計画及び予算について承認しました。



●水辺観察イベント「ブルーツアー」への協力(平成23年6月4日)

市環境部主催で実施の「市内の水辺空間」を巡る観察会にサポート要員として協力しました。



西島「皿池」



林崎掘割



林崎沖

●イオン明石環境イベントへの出展(平成23年6月4日、5日)

イオン明石ショッピングセンターで開催された「イオン環境フェア」に市環境部とともにブース出展を行い、省資源・省エネルギー・自然共生・環境学習等についての啓発活動を実施しました。



自然エネルギーで動くおもちゃ展示



環境紙芝居「海と空の約束」

●あかし打ち水大作戦2011への協力(平成23年8月13日)

明石市立天文科学館の玄関前で開催された市環境部主催の「あかし打ち水大作戦2011」では、司会進行や温度測定などのサポートを行いました。



「打ち水大作戦2011」明石市立天文科学館で開催

●2011環境&消費者フェアinあかしへの出展(平成23年11月3日)

市環境部主催の「2011環境&消費者フェアinあかし」へ、協働団体の協力を得てブース出展を行い、省資源・省エネルギー・自然共生・環境学習等についての啓発活動を実施しました。



風力発電で動くおもちゃ作り



不用になったポスターを利用した
エコバック作り



水辺(ため池)の生きもの展示コーナー

●その他の主な活動

☆ ライフスタイル

- グリーンカーテン設置(6月1日～)
 - ・市立図書館2Fテラスほか
- 「市立図書館 ふれあいエコイベント」への参加(11月6日)
 - ・※段ボールコンポストの配付、パネル展示、環境紙芝居の実演
- 「イオン環境イベント」への出展(3月10日)
 - ・エコバック作り、リサイクルおもちゃ作り、リサイクル小物や布ぞうりの展示等



グリーンカーテン(図書館)



イオン環境イベント(3月)

※段ボールコンポストをもっと詳しく知りたい方へ

明石市資源循環課ホームページ「ごみとリサイクル」内「生ごみ減量化大作戦」のコーナーでは、段ボールコンポストを利用した“生ごみのたい肥化”の詳しい取り組み方法を紹介しています。

(URL) http://www.city.akashi.lg.jp/kankyou/gomitai_ka/gomi/b-recycle/b-12.html



☆ エネルギー

- エコドライブの推進
 - ・ひょうご環境創造協会との意見交換(5月16日):保健センター
 - ・ひょうごエコドライブ推進コンソーシアムへの参加
(エコドライブ活動実践推進による二酸化炭素排出削減事業)
 - ・総会への参加、エコドライブ講習会(11月23日～1月9日)
 - ・『地域のNPOによる温室効果ガス削減活動支援事業の全国会議』に参加(2月19日):東京ビッグサイト



エコドライブ講習会(実車)

- あかし市民活動見本市への参加(11月23日)
 - ・パネル展示とステージ発表(エコドライブ)

- 「イオン環境イベント」への出展(3月10日)
 - ・エコドライブシミュレーター体験コーナー、パネル展示、自然エネルギーで動くおもちゃ等の展示



イオン環境イベント(3月)

- チーム「ゆほびか」・環境家計簿作成・データ集計
(「ゆほびか」ニュースを3ヶ月毎に発行)

☆自然

●里山整備

- ・金ヶ崎公園の整備(竹や常緑樹伐採・玉切り整備・樹木の名札付け)
- ・竹林再生スタート
- ・カシノナガキクイムシ生息調査(6月18日)
「ナラ枯れ」の原因・実態の調査
(県内一斉調査、うち1カ所が金ヶ崎公園)
- ・「里山復活大作戦! in金ヶ崎公園」(10月1日)
(ライオン(株)明石工場と協働)



金ヶ崎公園での里山整備

●環境学習への積極的関わり「環境体験事業」

◇谷八木小学校

- ・アマモ等の海の生物や、校区内の自然環境学習

◇高丘東小学校

- ・地域のため池の役割、生息する生物等の自然環境学習



海岸での環境学習



ため池での環境学習

●「自然環境フォーラム(うおずみ学講座)」の開催

◇第1弾 里山(7月10日)

- ・『生物多様性あかし戦略と里山について』
(講師:兵庫県立大学教授 服部 保氏)
- ・『金ヶ崎公園での取り組みについて』
(講師:兵庫県立大学助教 黒田 有寿茂氏)
- ・『今後の取り組みについて』(講師:エコウイングあかし)
- ・金ヶ崎公園での野外観察



自然環境フォーラム(第1弾)

◇第2弾 ため池・水路・川(7月24日)

- ・『明石・魚住でつながる自然』
(講師:明石ため池研究会 森本 眞一氏)
- ・『ため池の文化、今の取り組みについて』
(講師:いなみのため池ミュージアム運営協議会 三輪 顕氏)
- ・野外観察(新池~西国街道~瀬戸川~魚住浄水場~JR魚住駅)



自然環境フォーラム(第2弾)

●明石公園夕涼み自然かんさつ会への協力(7月30日)

(主催:明石 のはら くらぶ)

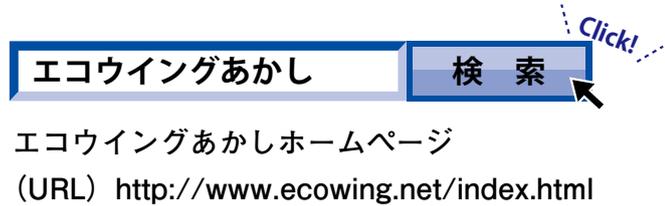
●専用のホームページの運営

エコウイングあかしの活動を広く発信するため、専用のホームページを開設しています。「省資源・省エネルギー」「自然共生」「環境学習」などに関する取り組み紹介や、各種イベント案内などの情報を掲載するほか、発行した冊子のダウンロードもしていただけます。

各記事にはコメント入力欄を設けておりますので、ご意見、ご感想などをお寄せください。

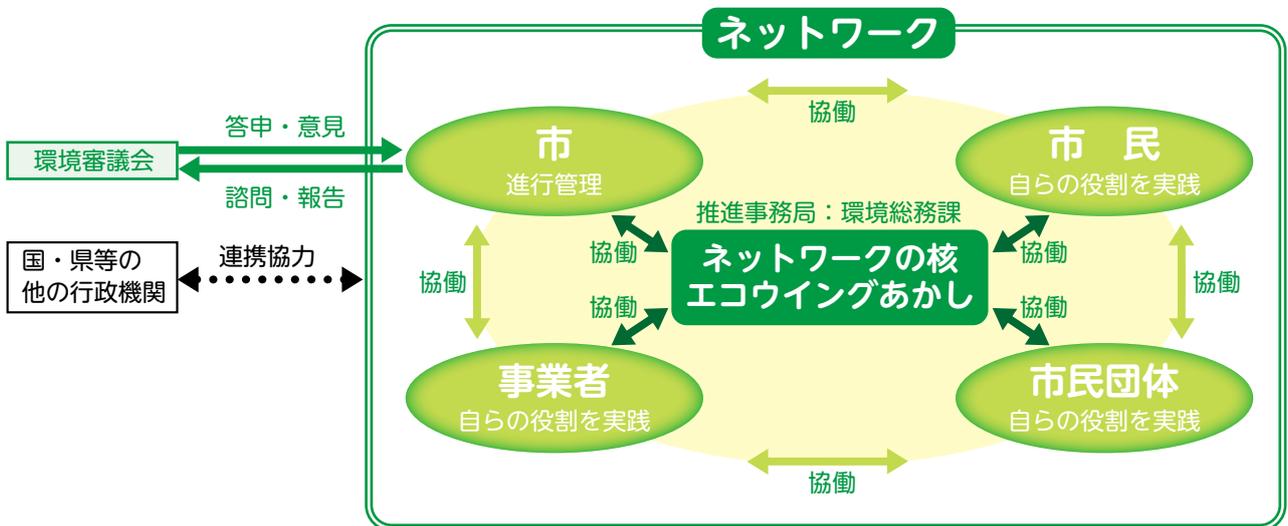


エコウイングあかしホームページ 「私たちの組織」



【団体間の交流、参画と協働の発展

第2次明石市環境基本計画を推進するためには、市民や市民団体、事業者、行政のすべての主体がそれぞれの責務を自覚する必要があります。互いに手を取り合って、環境全般に関わる取り組みを推進していかねばならず、様々な団体と協働で取り組みを実施していますが、今後より多くの団体との交流を図り、参画と協働の更なる発展に努めていきます。



9 明石市環境マネジメントシステム

明石市環境マネジメントシステムとは

環境マネジメントシステムは、企業や地方公共団体等が積極的に環境保全行動に取り組み、自主的・継続的に改善する仕組みです。

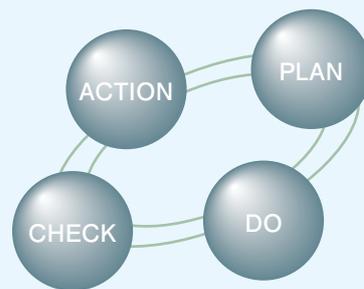
明石市では環境基本計画の進捗管理と環境の継続的な改善のために、平成12年度から「環境マネジメントシステム」を導入し、環境施策の推進や省エネの促進、またエコオフィス活動に取り組んできました。第2次明石市環境基本計画をはじめ、3つの環境に関する個別計画がそれぞれ策定されたことと、エコオフィス活動については定着してきたことから、今後の環境マネジメントシステムでは、新たな計画の進捗管理に重点を置くこととしています。

明石市環境マネジメントシステムの適用範囲

明石市役所本庁舎と市関連施設の事務・事業活動が適用範囲です。

●システムを運用するしくみ（PDCAサイクル）

- ① **P L A N**：環境保全のための方針を立て目標を設定し、具体的な行動計画を立てる
- ② **D O**：行動計画を実施する
- ③ **C H E C K**：行動計画が適切に運用されているか実施状況や成果を点検する
- ④ **A C T I O N**：点検結果を参考にシステムを見直し、改善する



①～④の繰り返し (=PDCAサイクル) により、継続的なシステムの改善を図ります。

自治体間相互環境監査の取り組み

環境マネジメントシステムの向上を図るため、阪神播磨地域の自治体間で相互環境監査システムを構築し、監査の際には互いに監査員の派遣及び受け入れを行っています。

平成19年度の会議体発足当初の参加自治体数は5市でしたが、平成22年度には姫路市が参加を、平成23年度からは芦屋市が参加し7市体制となり（姫路市、尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市 ※行政順に記載）、締結した「環境マネジメントシステムに係る自治体間相互環境監査に関する覚書」に基づき相互監査を実施しています。

平成23年度の明石市内部環境監査には姫路市と尼崎市の職員が参加し、明石市の職員は尼崎市と宝塚市の監査に参加しました。

また、この相互監査システムの取り組みは他の自治体の関心も高く、注目を集めるようになってきています。

環境目的・環境目標の取り組み

平成23年3月に策定した、「ストップ温暖化！低炭素社会のまちあかしプラン」、「つなごう生きもののネットワーク 生物多様性あかし戦略」を推進するため、目標の設定方法を昨年度から改めました。

市役所の事務・事業活動で環境に特に良い影響を与えるもの、悪い影響を与えるものを抽出し、環境目的・環境目標・行動計画の設定を行い、目標の達成に向けた環境改善行動に取り組みました。環境に貢献できる各課の施策を「環境貢献：施策編」とし、省エネ促進のための行動を「環境貢献：エコ活動編」として整理を行いました。

環境貢献(施策編)

各課の業務(施策)の中で環境貢献できるものについて、目標を設定する環境改善の取り組み

環境貢献(エコ活動編)

コピー用紙・ガソリン・電気・都市ガスなどの資源使用量とエネルギー使用量について、省エネルギーを促進するための日々の行動を各課で目標設定し活動する取り組み

目標設定方法の見直しイメージ

環境貢献・取り組み編

環境貢献・エコオフィス編

分類

環境貢献
(施策編)

環境に貢献できる各課の施策

環境貢献
(エコ活動編)

省エネ促進のための行動

省エネ法等
(前年度比1%の削減目標)

環境貢献(施策編)

各課が行う業務(施策)の中から環境に貢献できるものを抽出し、目標設定を行いました。平成23年度は各課から138項目の目標があり、達成度の内訳は下記のとおりです。

◆環境貢献(施策編) 平成23年度の達成状況：138項目

目標達成度	項目数	全体に占める割合
◎：期待を上回る	9項目	6.5%
○：期待どおり	114項目	82.6%
△：期待を下回る	11項目	8.0%
×：未実施	4項目	2.9%

以下に、市民に展開した事例を紹介しています。P.23～26に、事業評価表を掲載しています。

●産業振興部天文科学館

天文科学館では、宇宙から地球環境を見つめ直し、温暖化防止につなげるため、「太陽光発電進歩ジウム」を開催しました。

この進歩ジウムでは、事業者による太陽光発電の取り組みや、明石市が実施する太陽光発電設備設置補助金制度のほか、実際に設備を導入された市民による事例発表などを行い、広く市民へ啓発活動を実施しました。(事業評価表P.24に記載)



太陽光発電進歩ジウムの様子



●土木部(現土木交通部) 道路管理課

道路管理課では、道路照明のLED化事業に取り組んでいます。LED照明は従来の道路照明(水銀灯)に比べて寿命も長く、節電効果の非常に高い、環境配慮型照明器具となっています。

平成23年度は、明石駅周辺街路灯や老朽化した道路照明を、LED照明器具へと取り換え工事を行いました。(事業評価表P.24に記載)



明石駅周辺歩道LED照明



明石駅北口東側交差点LED照明



環境貢献(エコ活動編)

エコ活動編では、省エネを促進するための日々の行動について、各課で目標設定を行いました。平成23年度は各課から93項目の目標があり、達成度の内訳は下記のとおりです。

また、市役所の事務活動で使用する「コピー用紙」、「ガソリン」、「電気」、「都市ガス」の4項目について、平成23年度の使用実績を下記に記載しています。

◆環境貢献(エコ活動編) 平成23年度の達成状況：93項目

目標達成度	項目数	全体に占める割合
◎：期待を上回る	14項目	15.1%
○：期待どおり	64項目	68.8%
△：期待を下回る	15項目	16.1%
×：未実施	0項目	0%

◆平成23年度の使用実績(市役所全施設)

項目	平成23年度実績	平成22年度実績
コピー用紙 (A4換算)	23,248,750枚	18,772,559枚
ガソリン	189,058L	182,621L
電気	81,469,960kWh	87,602,330kWh
都市ガス	1,913,493m ³	2,140,036m ³

平成23年度の実績では、「電気」、「都市ガス」の使用量は、省エネ活動の取り組みの成果もあり、減少していますが、コピー用紙とガソリンについては増加しております。特にコピー用紙については、20%以上もの増加がみられます。

要因として考えられるのは、昨年度策定の長期総合計画など、各計画の策定にかかる事務事業に要したものの、また、昨年度は「市長懇談会」を開催しており、その事務事業に要したものなどが考えられます。

今後においては、市役所全体での省資源・省エネルギーの取り組みをより徹底していきます。

※昨年度、公表している「環境レポート2011」では、平成22年度の実績値が、一部本レポートとは異なっています。本レポートの平成23年度の実績値では、平成22年度には対象となっていなかった下水処理場や市内の保育園などを含んでおり、比較するためには調査対象を同一にする必要があるため、平成22年度の数値を改めて算出しています。

明石市内部環境監査の実施

内部環境監査は、明石市環境マネジメントシステムが有効に機能しているかを評価するために実施しており、市役所職員と自治体間相互環境監査システムにより派遣される他自治体職員が監査員を務めています。

内部環境監査の結果は、内部環境監査結果報告書として、環境管理総括者（市長）に報告され、マネジメントシステムの見直しに活用されます。また、監査で指摘事項や提案事項があった項目は、修正・改善し、今後の環境目標設定等に反映されるとともに、模範となる点については参考事例として市役所内に広く周知しています。



平成23年度の内部環境監査

環境管理総括者（市長）が任命及び指名した内部環境監査責任者、同副責任者、主任内部環境監査員及び内部環境監査員に、自治体間相互監査員の2名を加えた44名体制で平成23年度の内部環境監査を実施しました。監査対象の17部局、33課に10月から11月にかけて実施した結果、すべての課で優れている点や模範となる点が確認されました。

●優れている点や他の模範とすべき点

市民や事業者への環境配慮を意識づける内容等、合計40件の報告がありました。以下はその例です。

- ◇ 廃品を利用したおもちゃ作りやお絵かき、運動会でのごみ分別競争など、保育所における積極的な環境教育への取り組み（保育課）
- ◇ レジ袋無料配布の取りやめについて市内各スーパーへ協力依頼をするなど、事業者・消費者団体の協力と参画の下、ごみ減量と地球温暖化防止の推進（資源循環課）

環境管理総括者（市長）による見直し

年度末に環境管理総括者（市長）が環境マネジメントシステムの見直しを行います。平成23年度の見直し指示事項は以下の2点です。

- (1) 第2次明石市環境基本計画に定める基本方針に基づき、「ストップ温暖化！低炭素社会のまちあかしプラン」、「つなごう生きもののネットワーク 生物多様性あかし戦略」及び「みんなでつくる循環型のまち・あかしプラン」が効率的に推進できるシステムを構築すること
 - (2) 節電対策を実施し、市役所全体でエネルギー使用量の削減に取り組むこと
- そのほか、第2次明石市環境基本計画の主旨を踏まえ、環境方針の見直し指示がありました。

なお、平成22年度の指示事項である「ストップ温暖化！低炭素社会のまちあかしプラン」、「つなごう生きもののネットワーク 生物多様性あかし戦略」の推進への対応として、平成23年度は環境貢献（取り組み編・エコオフィス編）の目標設定方法を改め、環境貢献（施策編・エコ活動編）とし、環境に貢献にできる各課の施策の抽出と省エネルギー促進のための行動を目標設定しました。

10 平成23(2011)年度の事業評価表

平成23年度に実施した、各部署の主な環境貢献関連施策の内容と評価を一覧表に記載しています。各課の取り組みについては、環境部ホームページよりご覧いただけます。

●環境貢献(施策編) 環境基本計画に定める主な取り組み

※達成状況 ◎：期待を上回る ○：期待どおり △：期待を下回る ×：未実施

部	取り組み名称	平成23年度の環境目標	平成23年度の取り組み内容	達成状況
政策部	地下水保全に関する事務	明石市の環境の保全及び創造に関する基本条例・第5章第1節の規定に基づく規制	・明石市の環境の保全及び創造に関する基本条例、第5章第1節の規定に基づく届出書類の適切な処理等 ・届出対象外の井戸に対する同様の書類提出依頼	○
総務部	古紙回収	庁内古紙回収の推進及び職員のリサイクル意識の向上	毎月2回程度、庁内で発生した古紙を回収し、随時、業者に再生処理を依頼する	○
財務部	公用自転車の利用を促進するための環境整備と啓発を強化する	公用自転車の利用を促進し、ガソリン使用量の抑制に努める	・職員用ホームページを通じて、公用自転車の利用を促進する ・利用状況の確認を行う ・定期的に整備作業を行う	◎
コミュニティ推進部	環境&消費者フェア等での啓発	環境に配慮したライフスタイルの推進	イベント・講座等を通して、参加者に意識啓発を図る(11月に環境&消費者フェアで実施)	○
文化芸術部	環境教育・環境学習の推進	生涯学習センター及びコミュニティセンターでの環境問題に関する市民講座の開催	・環境に関する講座等の開催(身近に出来るエコ対策) ・クリーンアップ作戦の実施	○
福祉部	食育推進事業の実施	家庭における食育の推進	・幼稚園、保育所にてご飯を炊いて食べる体験教室を実施(年間 幼稚園9か所・保育所7か所 計16か所) ・家庭での食育の取り組みのパンフレットを作成し、各関係課に配布 ・各幼稚園・保育所等にて、パンフレットを活用した食育の講話(10~3月)	◎
環境部	明石市環境基本計画の推進	明石市環境基本計画の改定	・計画見直しの市民委員を公募、市民会議を開催 ・環境審議会での審議 ・環境基本計画の改定、公表	○
	自然に関するプロジェクト推進(環境基本計画)	・自然環境データ収集・整理 ・里山及び里海再生活動の推進	・定例会の開催 ・里山整備活動(月1回) ・生物多様性あかし戦略の推進 ・環境フェアでの啓発活動	◎
	壁面緑化(グリーンカーテン)の普及促進	・市庁舎等にグリーンカーテンを設置 ・市民へのグリーンカーテン資材の無料配布	・公共施設への設置業者を選定し、グリーンカーテン設置 ・市民にグリーンカーテン資材を配布 ・グリーンカーテン市内グリーンカーテンの実施、結果公表 ・事業所の緑化推進を検討	○
	再生可能エネルギーの導入促進	住宅用太陽光発電設備の設置補助	・住宅用太陽光発電設備の設置補助(上期・下期)実施 ・再生可能エネルギーの導入促進を検討 ・市民への広報、周知	○
	ごみの分別収集と資源化の促進(ごみ収集運搬事業)	分別状況の悪いごみステーションの把握に努め、分別収集の徹底を図る(平成23年度目標80件)	ごみ出しマナーの悪い地域などに啓発チラシを配布する	◎
	ごみ発電の高効率発電の継続	タービン発電機の蒸気利用における高効率発電の維持(平成23年度 蒸気の発電利用率75%)	タービン発電機の蒸気利用における高効率運転の協力依頼と発電利用率の監視を実施する	◎

●環境貢献（施策編）環境基本計画に定める主な取り組み

※達成状況 ○：期待を上回る ○：期待どおり △：期待を下回る ×：未実施

部	取り組み名称	平成23年度の環境目標	平成23年度の取り組み内容	達成状況
産業振興部	里と海の協働による「豊かな海の再生」	里（農業者）と海（漁業者）の協働の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「豊かな海の再生」検討会、シンポジウムの開催 ・ため池グリーンキャンペーンの実施 ・かいぼり（池干し）の実施 ・かいぼり（池干し）による栄養分の海への放流 	○
	電気の削減（太陽光パネル啓発）	太陽光発電の展示を利用した環境学習の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電のPRを積極的に行い、来館者の環境意識を高める ・太陽光発電進歩ジウムの開催 	○
土木部	明石駅周辺街路灯のLED化事業	明石駅周辺の道路照明（水銀灯等）を環境配慮型照明器具（LED照明器具）に取り替える	<ul style="list-style-type: none"> ・設置工事に関する契約事務 ・LED照明取り替え工事実施、完了 ・市民にむけた広報、PR 	○
都市整備部	緑の基本計画の推進	明石市緑の基本計画を庁内および市民に知らしめる	市民の緑化意識の向上を図る	○
下水道部	「循環のみち（環境負荷の軽減）」に向け各種の啓発活動を展開する	下水道に関するイベントの充実や市民への広報活動の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道展等の開催 ・広報紙への掲載 ・ホームページの更新、広報委員会の開催 ・出前講座、地元説明会、施設見学の実施 	◎
会計室	会計処理事務に必要な帳票・コストの削減を図る	各課会計担当者への指導、研修を実施	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会マニュアル作成、研修会開催 ・研修会を受けてマニュアル、実務作業の見直し ・作業効率の見直し 	○
交通部	バス利用の促進を図る	バス利用促進啓発運動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺でバス利用促進の呼びかけ運動実施 ・バスの日（9/20）に啓発運動を実施 ・「マイバス・マイ電車の日」の啓発運動実施 	○
水道部	原浄水施設整備事業、配水施設整備事業	浄水場等の使用電気を基準年度（平成21年度）より1%削減し、25,800kWhとする（平成23年度25,800kWh）	<ul style="list-style-type: none"> ・高効率機器の導入、適正な機器配置 ・効率的な運転 ・創エネルギーに関する基本検討 	◎
教育委員会	環境体験事業（※小学校3年生で実施）	本年度全校実施を行う。環境担当者会を中心にしながら、情報交換を行い、各校の特色ある活動の推進と充実を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・各校の実態に合わせた実施計画の作成 ・環境担当者会等での情報交換 ・環境体験事業の実施 ・取組の交流と次年度に向けての情報交換 	○
選挙管理委員会	選挙における開票開始時間の繰上げ・開票時間の短縮	選挙における開票開始時間の繰上げ・開票時間の短縮についての調査、検討	<ol style="list-style-type: none"> ①開票道具の工夫及び改善 ②開票事務従事者を対象とした研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・開票時間短縮に向けた取組みの見直し ・開票道具改善の検討及び新機材選定 	○
消防本部	消防車両整備事業	規制対象車を更新し、適合車両を適正に運行して環境保全に努める（平成23年度更新2台）	<ul style="list-style-type: none"> ・年々高度化する傾向にある各種技術、資機材等の情報を早期に入手し、効果的な新資機材の導入を図る ・仕様決定、入札、契約依頼 ・契約締結、業者製作開始、中間検査、車両納入検収 	○

※各課の取り組みについては、環境部ホームページ「環境レポート」のコーナーに掲載しています。

●環境貢献 エコ活動編の主な取り組み

※達成状況 ○：期待を上回る ○：期待どおり △：期待を下回る ×：未実施

部	取り組み名称	平成23年度の環境目標	平成23年度の取り組み内容	達成状況
政策部	エレベーターの使用を控える	2up2downは階段を使用する	2up2downは階段を使用する ・目標値の周知 ・階段利用を促すための案内を表示する	○
中心市街地活性化プロジェクト	共有文書のネットワーク化を図ることによって、紙の使用及びコピーの使用を抑える	共有文書のネットワーク化	共有フォルダを活用し、文書の共通化を図り、共有文書の紙出力を抑える	△
総務部	MY箸の持参運動の推進	庁内外で昼食をとっている職員について、割り箸の使用を止め、MY箸の使用を徹底する	庁内外で昼食をとっている職員に対し、MY箸の使用について啓発を実施する	○
財務部	電気・都市ガス・ガソリンの削減	<ul style="list-style-type: none"> 冷暖房設定温度に対する安定的な制御 不必要な照明の消灯 各課所管車両の台数見直し（一括管理化） 	<ul style="list-style-type: none"> 不必要な照明の消灯、冷暖房温度、期間の遵守 西庁舎冷温水発生器への水質改善剤注入の効果測定 本庁舎空調制御装置の改修、空調設備の1部更新 各課所管車両の一括管理化、車両利用状況の調査 	○
コミュニティ推進部	市内各職場から2キロ以上遠くの出張は、可能な限り、自転車又は公共交通機関を利用する	各部署で出張方法の見直しを図り、公用自動車をできるだけ使用しないで済む方法を見つけていく	各部署で、出張方法の見直しを図り、公用自動車をできるだけ使用しないで済む方法を見つけていく	○
文化芸術部	電気・都市ガス・ガソリンの削減	前年度比1%の使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> 冷暖房設定温度の遵守 空調・照明設備の部分使用 エコドライブの励行 公用車の効率的な使用の促進 公共交通機関の利用促進 	○
福祉部	ごみの分別の徹底と資源化の促進	ごみの分別の徹底	<ul style="list-style-type: none"> 簡易包装を周知 ごみ箱等にごみの種類を明示する 	○
保険・健康部	電気・都市ガス・ガソリン使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 使用しないパソコン・プリンターなど、OA機器のスイッチオフの徹底及び、コピー機の節電機能活用の徹底 2up3downは階段を利用する エコドライブ励行のため給油時にタイヤの空気圧確認 	<ul style="list-style-type: none"> 使用しないパソコン・プリンターなど、OA機器のスイッチオフの徹底及びコピー機の節電機能活用の徹底 2up3downは階段を利用する エコドライブ励行のため、給油時にタイヤの空気圧を確認 	○
環境部	ガソリンの削減	職員へのエコドライブの周知徹底	<ul style="list-style-type: none"> エコドライブの励行 公用車の相乗り促進 公共交通機関の利用促進 	○
産業振興部	イベント時のごみ分別、来場者への公共交通機関の利用促進を徹底	イベント時のごみの分別・公共交通機関の利用の徹底	<ul style="list-style-type: none"> イベントの実施時に、広報誌等で公共交通機関の利用啓発を行う 会場にごみの種類(分別)が明示されたごみ箱設置 	○
土木部	電気・ガソリンの削減	前年度比1%の使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> 冷暖房設定温度の遵守 エコドライブの励行 公用車の相乗り促進 	○

●環境貢献 エコ活動編の主な取り組み

※達成状況 ○：期待を上回る ○：期待どおり △：期待を下回る ×：未実施

部	取り組み名称	平成23年度の環境目標	平成23年度の取り組み内容	達成状況
都市整備部	電気・ガソリンの削減	前年度比1%の使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの励行、公用車の効率的な使用 ・公共交通機関の利用 ・OA機器のスイッチオフ励行、コピー機の使用時間制限 ・不要照明の消灯 ・冷暖房温度の適切設定、クールビズ・ウォームビズ徹底 	○
市民病院	電気・都市ガスの削減	前年度比1%の使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・空調の運転手法見直し ・不要な照明の消灯の徹底 ・ボイラー、冷温水器の運転の効率化 ・電球交換時に、電球型蛍光灯を取付 	○
交通部	電気・都市ガス・ガソリンの削減	前年度比1%の使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・不要な照明の消灯の徹底、冷暖房設定の遵守 ・エコドライブの励行、公用車の相乗り促進 ・公共交通機関の利用促進 	○
水道部	コピー使用量の抑制	職員への紙のリサイクルの徹底、不要な紙ベース資料の仕分けとその実現 [平成23年度紙使用量を前年度比10,000枚減]	環境に配慮し、紙の有効利用、資料削減の取組を徹底	◎
教育委員会	ガソリンの削減	前年度比1%の使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの励行 ・公用車の効率的な使用(相乗り) ・公共交通機関の利用 	○
市議会事務局	事務局及び議員控室より出る紙類の分別を徹底する	可燃ごみの削減	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局・議員控室のリサイクルBOXに古紙受入基準を明示 ・裏面の再利用、両面コピー、会議資料の印刷・複写の削減に努める 	○
監査事務局	エレベーターの使用回数を減らす	2up2downはエレベーターを使用しないように意識する	<p>できるだけ階段を利用する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標の啓発、実行 ・目標を定着させ、検証する 	○
農業委員会	廃棄物に含まれるメモ用紙等の雑紙ごみを回収し、再生紙にまわす	紙ごみ回収の徹底	「紙ごみ専用」と表示した箱を事務机周囲に置き、雑紙を含めた紙ごみを回収する	○
消防本部	電気・ガソリンの削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ガソリン 前年度比3%の使用量削減 ・光熱水費 前年度比3%の使用量削減 	<p>(ガソリン)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公用車の乗り合い、エコドライブ励行 <p>(電気)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休憩時間の庁舎内照明の消灯の徹底 ・使用しない時間のパソコンの電源OFFの徹底 ・エレベータの利用制限 	◎

※各課の取り組みについては、環境部ホームページ「環境レポート」のコーナーに掲載しています。

11 主な関連資料

主な関連資料の一覧

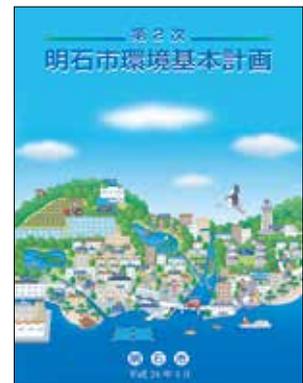
●環境事業概要

昭和55年から発行している事業概要書で、明石市の環境行政に関する組織、事業、予算、計画、環境美化整備、環境保全対策、し尿、ごみの減量化・資源化及びごみの収集・処理などの各種統計を掲載しています。



●第2次明石市環境基本計画(平成24年1月改定)

「第2次明石環境基本計画」は、平成19年3月に策定された明石市環境基本計画改定版の見直しを行い、平成24年1月に策定したもので、長期総合計画と連携して明石市の望ましい環境像の実現をめざすための基本的方針をまとめたものです。環境基本条例に基づき、明石市の特性を考慮した環境全般の取り組みの基本になる考え方、めざす環境像、取り組みの内容を示しています。



●ストップ温暖化！低炭素社会のまちあかしプラン

これまでの「地球温暖化対策実行計画(平成19年3月改定)」では、明石市が市の事務事業を実施する上で排出する温室効果ガスの削減についての計画でしたが、平成22年度に策定した「ストップ温暖化！低炭素社会のまちあかしプラン」では、市の業務だけでなく、市民・事業者も含めた市内全域から排出される温室効果ガスを削減するための数値目標と、具体的な取り組みを示しています。



●つなごう生きもののネットワーク 生物多様性あかし戦略

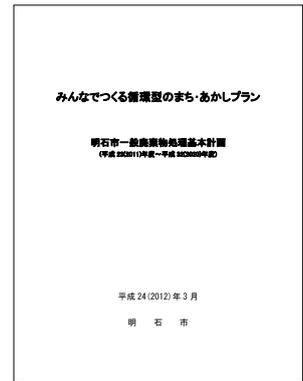
平成22年度に策定した「つなごう生きもののネットワーク 生物多様性あかし戦略」は、私たち人間が生きるために必要な自然の恵みを大切にすること、すなわち、自然環境や多様な生きものによる生物の多様性を保全し、自然と共生していくために必要な取り組みと方針を定めています。



●みんなでつくる循環型のまち・あかしプラン

平成24年3月に策定した「みんなでつくる循環型のまち・あかしプラン（明石市一般廃棄物処理基本計画）」は、ごみ処理における最終的な目標は「循環型社会の実現」にあるとの基本理念に立ち、数値目標と具体的な取り組みを示しています。

この計画に基づいて、3R（リデュース〔発生抑制〕、リユース〔再利用〕、リサイクル〔再生利用〕）を中心とするごみの減量・資源化の取り組みを推進し、環境への負荷が小さく持続可能な循環型のまち・あかしを目指します。



主な関連資料の入手方法

紹介している資料（計画書等）は、下記Webサイトよりダウンロードしていただけます。また、印刷物でお渡しすることも可能ですので、環境総務課にご連絡ください。

明石市環境部環境総務課・環境保全課Webサイト「ECOIST（エコイスト）」

(URL) http://www.city.akashi.lg.jp/kankyou/earth_kankyou_ka/ecoist/index.html



ECOIST トップページ



環境レポート関連ページ

※この報告書に掲載していない情報についても、インターネットホームページで公開しています

『明石市環境レポート2012 -平成23年度 年次報告書』 に対するご意見

◆ レポートの内容

関心を持った項目 など

◆ レポートの編集やレイアウト

文書量が多い、語句が難しい、写真が少ない など

◆ レポート全体について

項目が多い など

について、ご意見・ご感想・ご提案を、「郵送」、「FAX」または「E-mail」にて下記までお寄せください（様式は自由です）。

いただいたご意見などは、次年度発行する「明石市環境レポート2013」への反映、明石市の環境への取り組みの参考とするなど、今後のよりよい明石市の環境行政へとつなげていきます。

＜お問合せ・送付先＞

明石市 環境部 環境総務課（計画係）

〒 674-0053 明石市大久保町松陰 1131（明石クリーンセンター内）

電 話・・・078-918-5029

FAX・・・078-918-5107

メール・・・plan-ems@city.akashi.lg.jp

